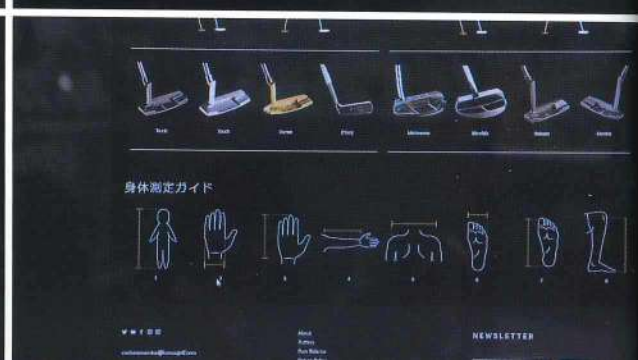
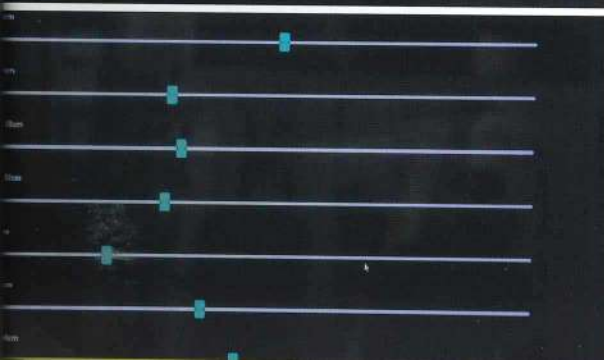


朝日ゴルフ 海外事業戦略課 課長 山口亮氏
 kobo-navi.jp facebook: gew.jclub



www.gew.co.jp

新たな。パターフィッティングで描く『クロノスゴルフ』の未来

米国発の本格削りだしパター「クロノスゴルフ」は、パター界の新鋭デザイナー、フィリップ・ラバースが手掛けるブランドで2012年に設立。多くのパター製造者は研磨など、削り出し後の工程で必要な技術に注力しているが、クロノスゴルフでは初期の製造工程であるミルド加工が重要であると考え、精度を極限まで高めている。その同社が創業8年を機に新たなフィッティングシステムを構築。米国、日本で特許申請中で、今春からいよいよスタートする。

従来の概念を一掃するフィッティングシステムの中身とは？

(取材構成 浅水敦)

パターの8割以上は34インチゴルフファーはパターに合わせたストロークをしているという現実

「日本には700万人のゴルフアーがいて、一人ひとり体格が異なります。でも、大半の人が34インチのパターを使っている。現在、市場にあるクロノスパターで見ても、8割以上が34インチで占めています。振り方は一緒？ 構え方や長さは？ なぜ34インチで合わせなくてはいいくない？ つまり、ゴルフアーはパターのスペックに合わせた構

えやストロークをしているといえます」
こう話すのは、朝日ゴルフ海外事業戦略課の山口亮課長。確かに従来からあるパターフィッティングは、ゴルフアーのストローク(軌道)に対して、ピン型やマレット型を推奨したり、構えた時にトゥが上がっているから、ライ角をフラットへ、ちよつとつり気味なのでアップライトにというのが一般的だ。「それは、現在のストロークに対しての提案であって、あくまでパターに対して作り上げたスタイルにすぎません。今回クロノ

スゴルフが提案するフィッティングの概念は、ゴルフアーそれぞれの身体にマッチした長さ、ライ角などを最初から導き出し、本来持っているストロークの質を向上させます」

クロノスの新しいフィッティングシステムとは

それを可能にするのが、クロノスが独自で編み出した一人ひとりのパタースペックを割り出す「ポストチャーフィット」。これに基づき、身体に合わせたパターフィッティングが可能になるとい



その手順だが、
「まず、身体のあらゆるサイズを測定していきます。①身長、②手の幅、③手の長さ、④腕の長さ、⑤肩幅、⑥足幅、⑦足のサイズ、⑧膝下の長さの計8項目を入力することによって、最適な長さとライ角が導き出されます。」

なぜ、ここまで計測するのか？ 冒頭でお話した34インチを使っていて、トゥが上がってしまっています。フラットにしようと思っていきますよね。それで合わなかったり、悩んだときに次は何をすればいいの？ ボールに近づいたり、腕の位置を変えるとか、ストロークのイメージなど、パターそのものを変更することもあるでしょう。でも、それってどこを基準にして、変化を作っているのか疑問です」

そこで、クロノスの新たなフィッティングシステムではまず、パターフィッティングにおける基準を作る。そうすると、それよりも上なのか、下なのか。フィッティング時に必ず戻れる場所ができるという。

「お客様にフィッティングする上で指標ができるから、より最適なパターを薦めやすくなるで



朝日ゴルフ 海外事業戦略課 山口亮課長

しょう。例えば、32インチのライ角73度か72度という推奨がでて、現在34インチを愛用しているとしましよう。中には、「いや、これ短すぎるよ」という声もでてくるかもしれません。」

そこで我々は無理に32インチを薦めるのではなく、計算値ではお客様に合うのがこの辺りなので、フィッティングを身体に近づけていきながら、着地点をみつけれられる。つまり、指標ができるんですね。簡潔にいうと、『通常のスペックより若干アップライトで短めがいいですよ』という話が顧客とできて、基準点ができる」

計10通りのパターが瞬時に完成する 独自の可変スペック式キット

長さとしてライ角が決まったら、独自の可変スペック式キットにより、20〜30秒でパターを組み上げ直ぐに打つことができるのもうれしい。ネックの長さが違う2つのヘッドと、シャフトを組み合わせることで、2種類の長さが瞬時に完成する。専用キットにはシャフトが3

本あり、先端にアルミのパーツが付いています。よく見ると二本線と一本線、そして何もついていないタイプになりますが、ヘッドに装着するとライ角が2度、1度、0度それぞれ変わります。これを逆向きにするとフラットからアップライトになる仕組みです」

つまり、3本のシャフトで、5種類のライ角が調整できるというのだ。ヘッドは「TOUCH SLANT」というモデルでスラントネックのブレードタイプと、「アーコン」(ロングネック)の2タイプがフィッティングキットに完備される。ネックの長さが1インチ違うため、これだけで長さが2種類できる。つまり、5種類のライ角調整と、2種類の長さになるから、計10個のパターがこのセットで試せるというのだ。

クロノスの新たなフィッティングシステムは、結果という「長さ」と「ライ角」を合わせるという部分では、従来と一緒にだが、考え方のスタートが根本的に違う。

今春からクロノスパター取扱店へ順次導入の予定。